◎タンニン酸アルブミン　[内]

【重要度】　【一般製剤名】タンニン酸アルブミン　（タンナルビン）　albumin tannate　【分類】局所収れん剤
【単位】◎g
【常用量】3～4g/日
【用法】分3～4
【透析患者への投与方法】吸収されないため，減量の必要はない（5）
【保存期CKD患者への投与方法】吸収されないため，減量の必要はない（5）
【特徴】タンニン酸と卵白アルブミンを結合させたもので，経口投与すると口腔，胃では分解されず収斂作用を示さないが，腸管内でアルカリ性の膵液により徐々に分解してタンニン酸を遊離し，蛋白質を凝固することにより腸粘膜に被膜を形成して緩和な収斂作用を現わすことにより止瀉作用を示す.
【主な副作用･毒性】ショック，アナフィラキシー，肝障害，便秘，食欲不振など
【安全性に関する情報】出血性大腸炎，牛乳アレルギーの例には禁忌（1）
【排泄】糞便中排泄（1）
【MW】大きい
【透析性】吸収されないので該当しない（1）
【相互作用】ロペラミドとの併用によりロペラミドが吸着して効果が減弱するおそれがあるので投与間隔をあけるなど注意（1）経口鉄剤の吸収を阻害（1）
【更新日】20151130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。